

モイネス外務大臣の天皇誕生日祝賀挨拶（仮訳）

（日本語で）“皆さん、おはよう。”

ラウレンティーノ・コルティソ・コーエン・パナマ共和国大統領（以下、コルティソ・パナマ大統領）に代わりまして、外務大臣として、また、パナマ国民を代表して、日本の国祭日である天皇陛下のお誕生日に際し、天皇陛下と日本の国民の皆様にご心よりお祝いを申し上げます。

1904年の外交関係樹立以降、両国は、それぞれの国民の生活の質と幸福を向上させるための相互のコミットメントに基づき、友好的かつ協力的な深い絆を築いてきました。

予期せぬ新型コロナウイルスの感染拡大により、現在、我々の国民は、公衆衛生面や経済面で大きな課題に直面しています。日本からの寛大な無償資金協力や医療消耗品等の供与に対し、改めて心より感謝申し上げます。我々は、日本からの温かい連帯を決して忘れません。

一昨年10月、コルティソ・パナマ大統領は、令和の幕開けを祝う天皇陛下の即位礼正殿の儀に光栄にも出席させていただきました。また、その訪日の際、1977年より、パナマ市と姉妹都市である愛媛県今治市より、2021年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に参加するパナマ選手団に対し、事前合宿の受け入れと費用負担をして頂ける旨お話をいただきました。日本のパナマ国民への連帯の表明に、改めて深く感謝申し上げます。

この点、新型コロナウイルス感染症のパンデミックという極めて困難な状況ではありますが、我々は、日本政府が、必要な感染予防対策を講じ、安全・安心な2021年東京パラリンピック・オリンピック開催を成功させ、日本国民だけではなく、全人類が新型コロナウイルスの災難に打ち勝った明白かつ希望にあふれる証を示すことが出来るものと確信しています。

コルティソ・パナマ大統領に代わりまして、外務大臣として、また、パナマ国民を代表して、天皇誕生日に際し、天皇陛下と日本国民の益々の繁栄を祈念するとともに、友好国としての協力と信頼の絆を有する両国間の緊密な関係の継続に向けた期待を表明致します。

（日本語で）“どうもありがとうございます。”